

竹原管内景況調査

3月の景況DIは、製造業は好転、非製造業は悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和7年3月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)

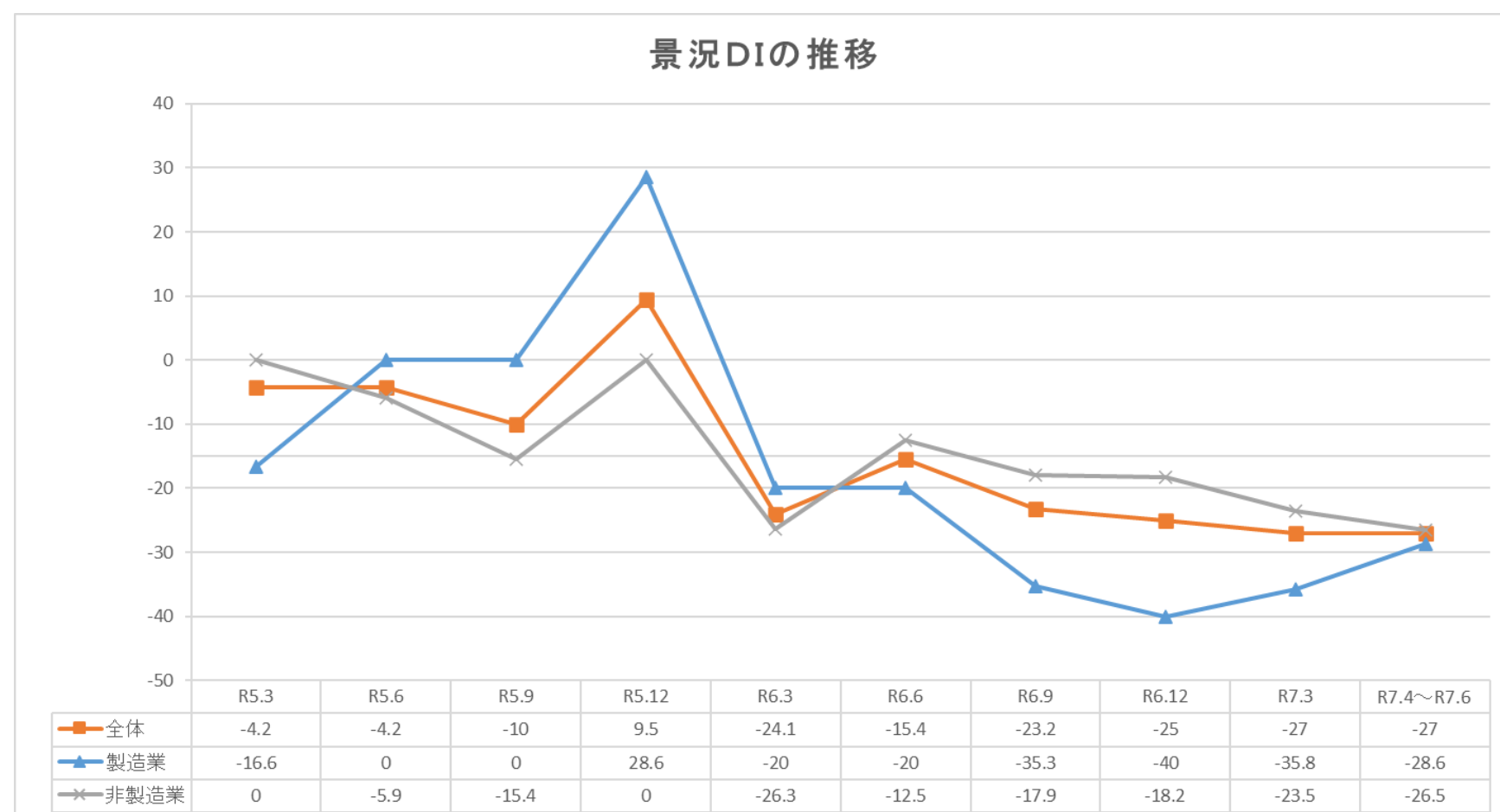
【調査期間】
令和7年3月

【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	18	14
建設	8	7
小売	18	14
サービス	18	13
合計	62	48

●全産業におけるDI値



3月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は7.2ポイント好転、非製造業は5.3ポイント悪化しました。
12月と比べて1月～3月までの見通しは、全体では、横ばいです。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

- ・物価高による贅沢品の買い控え。原価高騰の価格転嫁が現実的ではない。(日本酒)
- ・原材料高騰により、赤字幅が大きくなる見込み。(精密機械)
- ・仕事の受注は少しずつ増加してきているが、材料の仕入価格の上昇のため、大変厳しい状況が続いている。(看板)
- ・原材料費高騰、人件費の賃上げ、売上減少による悪化が続いている。(パン)
- ・受注が減り、経費が増える一方で、単価を上げてもらえない。(精密機械)
- ・原材料の価格高騰が続いているが、価格転嫁は難しいため。(菓子)
- ・社員の高齢化にともない、機動力が減少し、若者を採用したいが資金に余裕がない。(建設)
- ・人手不足のため。(化粧品)
- ・タクシー利用者の減少のため。(タクシー)
- ・人員不足(宴会部門)が深刻化し、受注案件を制限して受入れせざる得ない状況。原材料は高騰する一方で、その都度は価格転嫁できない為、料飲部門は苦しい状況が続いている。(ホテル)
- ・人手不足。(訪問看護)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)